

屋根と壁の取り合い部専用雨仕舞材 (改質アスファルト系防水シート)

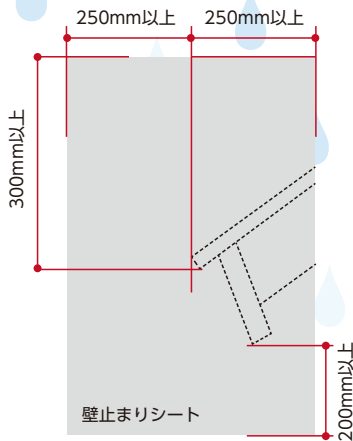
壁止まりシート

屋根軒先と壁との取り合い部 (壁止まり軒部) は、二次防水層へ雨水が回り込む傾向にあります。あらかじめ屋根下地材と壁下地との間に「壁止まりシート」を施工することで、躯体への雨水の浸入を防ぎます。(※壁止まり棟部も同様の雨仕舞処理が必要です。)

【製品規格】
500mm×1,000mm
40枚/箱入り

壁止まり軒部

「壁止まりシート」施工のポイント



1 壁止まりシートを適切なサイズにカットする

野地先を中心とする。
鼻隠 (垂木) 下端より200mm以上。



2 壁止まりシートを外壁と直行に施工する

壁止まり軒部は、「壁止まりシート」をあらかじめ屋根下地材と壁下地材との間に水平垂直に施工する。



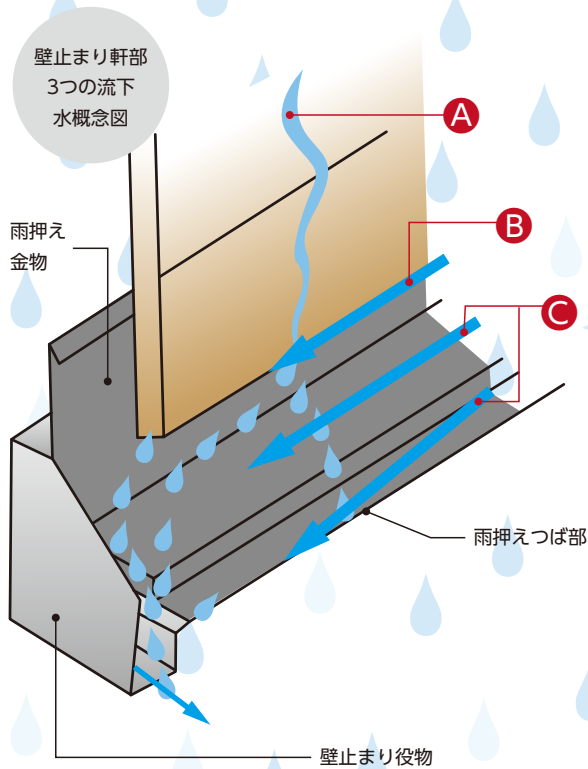
3 壁止まりシートの下端に下側の防水紙を差込む

軒下250未満、軒先側の壁いっぱいまで張る。



完成

壁止まりシート



壁止まり軒部は雨水が集中する部位

壁止まり軒部は、以下の三つの雨水の流れが集中する部位です。

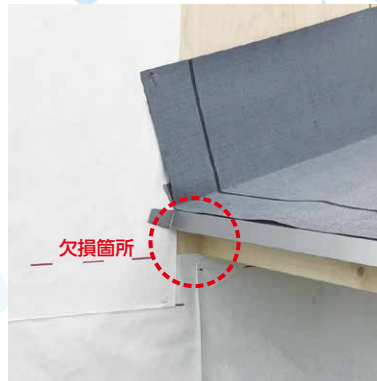
また、風を伴った降雨の場合、雨押え通気口から雨水が浸入し、壁止まり役物を回り込み、躯体を濡らすリスクが高くなります。

壁止まり部(軒部)三つの雨水の流れ

- A** 外壁を流れ落ちる雨水
- B** 外装材下端小口に沿って流れる雨水
- C** 雨押え金物を流れる雨水

壁止まり部への雨仕舞対策を取らなかった場合

雨仕舞上の欠損箇所が生じて
しまう可能性があり、漏水事故に
つながるリスクが高まる。



漏水事例

屋根と外壁との取り合い部(壁止まり部)の
漏水事故が顕著化しています。

